情報処理学会東北支部だより
第 217 号

発行責任者　牧野 正三 (支部長)
事務局　北形 元・岡 敏幸 (広報幹事)
〒980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1
東北大学電気通信研究所
Tel: 022-217-5455
Fax: 022-217-5411
email: ipsjkoho@shiratori.riec.tohoku.ac.jp

1 会告

1.1 研究会のご案内

1.1.1 平成 19 年度 研究会開催のご案内 (於：東北学院大学 2008/2/15 開催) (記事通番 07-11)

- 日時: 2008 年 2 月 15 日 (金) 09:00 ~ 17:30
- 会場: 東北学院大学 教養学部 (泉キャンパス)
  〒981-3193　仙台市泉区天神沢二丁目 1-1
  (仙台市地下鉄 泉中央駅から徒歩 35 分，宮城交通バス 15 分)

miyu@cs.tohoku-gakuin.ac.jp

- 備考: 2 月 15 日 (金) 17:30 より懇親会を開催致しますので，是非ご参加ください．

1.1.2　平成 19 年度 研究会開催 (発表論文募集) のご案内 (於：山形大学 2008/3/11 開催) (記事通番 07-12)

- 日時: 2008 年 3 月 11 日 (火)
- 会場: 山形大学工学部
  (992-8510 山形県米沢市城南４丁目３-１６)
- 発表申込方法:
  下記事項を電子メールでお知らせください．
  (1) 発表題目
  (2) 著者氏 (所属)(登壇者名の頭に○ 印)
  (3) 連絡先 (Email または Fax 番号)
  (4) 発表用機材 (OHP・プロジェクタ等を明記)
  (5) 懇親会参加の有無 (人数)
- 申込締切:　　2008 年 2 月 21 日 (木)　午後 5 時まで
- 申込先:
  氏名: 多田 十兵衛
  住所: 〒992-8510 山形県米沢市城南４丁目３-１６
  山形大学大学院理工学研究科　情報科学分野
  Tel: 0238-26-3576 (多田十兵衛　宛)
  Fax: 0238-26-3299
  E-mail: jubee@yz.yamagata-u.ac.jp
- 備考:
  (1) 発表原稿 (８頁以内) は必要部数 (４０部) コピーして発表当日会場にお持ちいただければよく，原稿の書き方は申込みをされた方にのみ後日発表プログラムと共にお送り致します．
  (2) 申込みをされた方には，必ず確認のための電子メールか或いはファックスをお送り致します．
  (3) 懇親会：研究会終了後に開催する予定です．

2 報告

2.1 研究会開催報告

2.1.1 平成 19 年度 第 3 回情報処理学会東北支部研究会 開催報告 (於：岩手大学 2007/1/11 開催) (記事通番 07-13)

- 日時: 平成 20 年 1 月 11 日 (金) 8:30 ~ 18:00
- 場所: 岩手大学工学部一祐会館 2 階会議室
- 発表件数: 全 32 件
- 発表時間: 15 分/件 (発表：12 分，質疑応答：3 分)

- セッション 1 (8:30-10:00) 座長：原美オサマ (岩手大学)
  (1) 切り欠き形状に対する自由曲面当てはめ手法の実用データへの適用
  ○ 山本拓哉，今野晃市 (岩手大学), 徳山喜政 (東京工芸大学)
  (2) 2 次曲面推定を利用した機械部品の計測点群に対するフィレット認識
  ○ 高橋哲也，金野哲士，今野晃市 (岩手大学)
  (3) 歪みのない曲面内挿法のための細長い 5 辺形面の分割方法の検討
  ○ 村木祐太，今野晃市 (岩手大学), 徳山喜政 (東京工芸大学)
  (4) サーバーの動的割り当てを用いたバーチャルタッチングシステムの検討
  ○ 小野寺建，和田謙大，今野晃市 (岩手大学), 徳山喜政 (東京工芸大学)
  (5) 球面空間ハフ変換による車載魚眼カメラからの車線検出
  ○ 北村 強 (岩手大学), 李 仕剛 (鳥取大学), 千葉則茂 (岩手大学)
  (6) 車の側面に取り付けた魚眼カメラで得られたステレオ画像からの車線検出と追跡
  ○ 下村優太 (岩手大学), 李 仕剛 (鳥取大学), 千葉則茂 (岩手大学)
- セッション 2 (10:15-11:45) 座長：荒木 徹 (岩手大学)
  (7) A Performance Evaluation of Bayes Learning Algorithm For Spam Filter and Virus Filter
  ○ Huihuan Wang, Naoshi Nakaya, Ryuiti Koike, Yuji Koi, Dengfeng Zhang, Abdullah Mamun (Iwate University)
  (8) コンピュータウイルスの可視化
  ○ 三浦雄一郎，中谷直司，厚井裕司 (岩手大学)

(9) コンピュータウイルスフィルタによる誤検出率低下方式の評価
○ 菅原 圭，中谷直司，厚井裕司 (岩手大学)

(10) 緊急地震速報によるコンピュータ制御方式の検討
○ 王 岩松，田村善則，中谷直司，厚井裕司 (岩手大学)

(11) Web と X を用いたリモートデスクトップの実現
○ 伊藤祐司，鈴木正幸 (岩手大学)

(12) Ajax を用いた Wiki サーバの負荷軽減
○ 舘山翔平，鈴木正幸 (岩手大学)

- セッション 3 (12:00-13:15) 座長：今野晃市 (岩手大学)

(13) 画像補間処理用高性能プロセッサの構成に関する研究
○ 小原健太，恒川佳隆 (岩手大学)

(14) 多角形ファンビームスキャンからの画像再構成手法
○ 多田明広，田山典男，秋田敏宏，栗田宏明，佐藤宏明 (岩手大学)

(15) 画像再構成法による探傷システムの基礎研究
○ 山口貴徳，矢島邦昭 (仙台電波高専), 田山典男 (岩手大学)

(16) 音波を用いた河川の流速分布の可視化
○ 遠藤茉莉香，矢島邦昭 (仙台電波高専), 田山典男 (岩手大学)

(17) 三角標本化定理を用いた部分画像再構成
○ 鈴木 葵，矢島邦昭 (仙台電波高専), 田山典男 (岩手大学), 海野啓明 (仙台電波高専)

- セッション 4 (13:45-15:00) 座長：矢島邦昭 (仙台電波高専)

(18) レーザグラフィックスによるポリゴンモデルの描画のためのベクタデータの生成法
○ 江六前勝士，原美オサマ，藤本忠博，千葉則茂 (岩手大学)

(19) グラフィックライブラリを利用した遺伝的アルゴリズムによるフラクタル図形探索の高速化
○ 坂本和章，藤本忠博，原美オサマ，千葉則茂 (岩手大学)

(20) 芸術系短大における Knoppix を活用した情報教育およびプログラミング教育
○ 野村松信 (秋田公立美術工芸短期大学)

(21) 青森県岩木川流域の 3 次元可視化システムの開発 – 巨大測定点群のポリゴン化プログラムとリアルタイムビューアの開発–
○ 新谷 敬，上谷彊輔 (青森大学)

(22) 産学連携による実践的ソフトウエア開発教育の取組み

○ 坂井雄介，上谷彊輔，緑川章一，角田 均，小久保 温，石田 努（青森大学），石澤美智代，佐藤篤史（株式会社青森電子計算センター）

- セッション 5（15:15-16:30） 座長：平山貴司（岩手大学）

(23) 災害発生時における地図を用いた情報伝達システムの研究

○ 佐藤敏行（仙台電波高専）

(24) 前カントル媒質における電磁波の共振特性について

○ 海野啓明，園田 潤（仙台電波高専）

(25) 大規模数値解析のための可搬型 USB ブート並列計算システムの開発とその評価

○ 八巻宏太，園田 潤（仙台電波高専）

(26) CIP 法の低価格 FPGA への実装による電波伝搬解析の高速化

○ 遠藤 翔，園田 潤（仙台電波高専）

(27) モンテカルロ法による磁性体モデルのヒステリシス解析

○ 小石川尊信，白根 崇（仙台電波高専）

- セッション 6（16:45-18:00） 座長：中谷直司（岩手大学）

(28) 通信イベントの多様な実行系列による MPI プログラムのテスト

○ 阿部真也，西谷泰昭（岩手大学）

(29) アリの行動を模した組み合わせ最適化法の改良

○ 佐藤慎也，荒木 徹，西谷泰昭（岩手大学）

(30) 多値論理回路のコンパクトな実現のための新しい論理式

○ 須藤昌吉，平山貴司，西谷泰昭（岩手大学）

(31) サイクリック分散ハッシュテーブルの拡張

○ 高橋雅博，荒木 徹，西谷泰昭（岩手大学）

(32) 有向サイクルの直積の $L(2, 1)$ ラベリング

○ 武田篤志，荒木 徹，西谷泰昭（岩手大学）

- 懇親会（18:15 ~ ）
- 会場: インシーズン（中央食堂 2 階，内線 5910）
- 参加者: 8 1 名
- 報告者: 藤本 忠博（岩手大学）

2.1.2 平成 19 年度 第 4 回情報処理学会東北支部研究会 開催報告 (於：日本大学工学部 2007/1/26 開催) (記事通番 07-14)

- 日時: 平成 20 年 1 月 26 日 (土) 9:00-17:25
- 会場: 日本大学工学部　次世代工学研究センター プレゼンテーションルーム
- 発表件数: 17 件
- 発表時間: 25 分 (発表 18 分，質疑応答 7 分)

- セッション 1 (9:00-10:40)　　座長：松井 和宏 (日本大学工学部)
  (1) 双対尺度法による文書分類用辞書からの話題特定キーワードの抽出
    ○ 野本裕也、西園敏弘 (日本大学工学部)
  (2) 領域知識を用いたコンテキスト適応型情報推薦サービス
    ○ 米谷直人、西園敏弘 (日本大学工学部)
  (3) RSS 生成エージェントの開発
    ○ 根本福太郎、林　容崇、成田祐一 (日本大学工学部)
  (4) RSS を用いた検索システムの提案
    ○ 林　容崇、根本福太郎、成田祐一 (日本大学工学部)
- セッション 2 (10:45-12:00)　座長：成田　祐一 (日本大学工学部)
  (5) ビジネス基礎教育分野でのグループ協調学習の適用と考察
    ○ 古山幹雄 (郡山女子大学短期大学部)、藤本　洋、武内 惇 (日本大学工学部)
  (6) グループ協調学習におけるグループ活性化に関する一考察
    ○ 薗田 孝造 (マイクロテクノ株式会社)、鈴木 孝浩、武内 惇、藤本 洋 (日本大学工学部)
  (7) パソコン組立ての公開講座の実施について
    ○ 森 和好 (会津大学)
- セッション 3 (13:00-14:15)　座長：奥山祐市 (会津大学)
  (8) 意思決定支援に向けた領域知識に基づく情報フィルタリング能力の分析
    ○ 本城敏克、西園　敏弘 (日本大学工学部)
  (9) 地域の危険情報の収集に基いた児童の安全教育のための支援システム A Safety Education Support System for Children based on Collection of Information on Possible Dangers
    ○ 村越功卓、叶　献智、制野孝幸、程　子学 (会津大学)
  (10) 調和ウェーブレット解析を用いた感情音声の特徴抽出に関する一考察

○ 山口　穣、金子正人、武内　惇、藤本　洋、守田　徹 (日本大学工学部)

- セッション 4 (14:20-15:35)　座長：佐藤　晴夫　(日本大学工学部)

(11) 粒子計算を応用した画像フィルタ処理の提案

○ 大堀文子、奥山祐市、黒田研一 (会津大学)、濱田　剛 (理化学研究所))

(12) 魚眼レンズによるステレオ視

○ 浜田善夫、鈴木道人、平田　成、出村裕英、浅田智朗 (会津大学)

(13) FPGA 実装を対象とした束データ方式による非同期式回路の遅延調整法

○ 國澤友紀、齋藤　寛 (会津大学)

- セッション 5 (15:45-17:25)　座長：齋藤　寛 (会津大学)

(14) マルチエージェント問題への遺伝的プログラミングの適用

○ 谷口和也、松井和宏、佐藤晴夫 (日本大学工学部)

(15) Algorithmic Approach to Stabilizing Controllers

○ 森 和好 (会津大学)

(16) 分散型電源ネットワークの需給制御モデルに関する研究

○ 勅使河原孝之、松井和宏、佐藤晴夫 (日本大学工学部)

(17) 可視化ツールによる座席予約管理システムの構築

○ 鈴木俊介、 松井和宏、佐藤晴夫 (日本大学工学部)

- 懇親会 (17：40 ~)
- 会場: 日本大学工学部５５号館 8 階スカイレストラン
- 参加者: 41 名
- 報告者: 阿部　健一 (日本大学工学部)

2.2　研究講演会開催報告

2.2.1　第 333 回研究講演会開催報告 (記事通番 07-15)

- 日時: 平成１９年１２月２７日 (木) １３：３０ ~ １５：４０
- 場所: 秋田大学工学資源学部情報工学科１０１講義室

- 講師: 東北大学大学院教育情報学研究部　教授　渡部　信一　氏
- 演題: 日本の「わざ」をデジタルで伝える
- 概要: 伝統芸能や民俗芸能の「わざ」, そして職人の「わざ」. 日本の「わざ」は , 本当にデジタルで表現し伝えることができるのだろうか？最先端のテクノロジーを活

用した「わざ」のデジタル化プロジェクトを紹介する．

- 講演報告: 伝統芸能や民俗芸能の伝承を，行動記録技術と 3D を用いて支援するプロジェクトが紹介された。具体的には，磁気式モーションキャプチャを用いて身体の動作を記録し，3D を用いてコンピュータ上で踊りを再現することにより，伝承をサポートするプロジェクトである。コンピュータ上で再現される映像には，“ 様々な角度から観察が可能である”,“ 通常，観察することが困難な衣装内部の身体の動きが分かる” などの利点があり，「わざ」を伝承するための教材の 1 つとして有用であることが紹介された。

- 講師: 東北大学大学院教育情報学研究部　准教授　中島　平　氏
- 演題: リモコンと映像記録を活用した学びの促進
- 概要: 本講演では，スタンフォード大学教授学習センターとの共同研究の成果として，授業の撮影と振り返りによって効率的・効果的に授業を改善する方法を紹介する．具体的には，大学院授業での実例を通して，新任教員やティーチングアシスタントへの適用可能性を探るとともに，コミュニケーション力向上への応用方法を検討する．
- 講演報告: 受講生が授業中に“ 面白い” と感じた時や“ よく分からない” と感じた時にリモコンを操作し，このリモコンの操作記録をビデオ映像における刻印として用いる方法が紹介された。この方法を用いた場合，映像中の重要な部分を短時間で検出可能であり，授業改善や授業評価に利用されている。今後は，学生による授業の復習や e-ラーニングへの利用も期待できる。

- 参加者: 約 35 名
- 報告者: 玉本英夫 (秋田大学)

3　東北支部カレンダー

デジタル支部だより発行予定

218 号 (2007 年 3 月末日発行予定)